

手をたずさえて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年7月31日(金)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

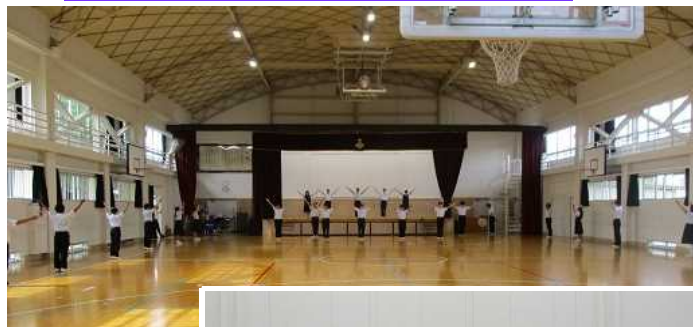
戻ってきた学校本来の姿! “With コロナ”のこれからの学校生活

8月27日に実施されることになった市駅伝大会に向けて特設駅伝部が始動しました。それを受けて壮行会も予定どおりの実施が決まり、応援団の朝練も行われました。やっと応援団の出番がまわってきました。市中体連新人総合大会についても種目毎の会議が行われており、9月の実施に向けての準備が始まりました。また、9月に実施される3年修学旅行も保護者の方々の意向を踏まえながら準備を進めています。1・2年学習旅行の準備も動き始めました。



本格的に始まった特設駅伝部の練習

2学期からは、学校行事や生徒活動等について、それぞれの状況に応じながら、全校生が一堂に会するものと放送で実施するものとに分けて対応していきます。2学期の始業式は、マスク着用や換気等の感染症対策を講じながら、今年度初の全校生で行う式(活動)とします。10月の「友垣祭」(文化祭)も合唱コンクールを中心にして実施します。コロナウィルスの感染状況によっては変更の可能性もありますが、できる限り諸活動を“本来のかたち(姿)”



手洗い場のマーカー

に戻していきたいと考えています。

しかしながら、予断を許さない状況であることに変わりはありません。大切なことは、感染症対策に手を抜かずに取り組んでいくことです。“コロナ慣れ”という言葉を目にしますが、毎朝の検温等の健康チェック、マスクの着用、手洗いの徹底、こまめな換気などの取り組みがおろそかになっていま



力のこもった応援団の練習風景

せんか?…再度自分自身、自分の学級や部活動等での取り組みを確認し、すべきことを徹底してやってほしいと思います。そして、この夏休みの生活における感染症対策もとても重要になることを忘れないでください。

“小原田中を語る会” 生徒会役員と校長との話し合い

7月28日(火)の放課後、生徒会役員の生徒とこれからの生徒会活動について話し合いを行いました。題して“小原田中を語る会”。

生徒会役員からは、学校生活に活気と潤いを生み出すための生徒会活動の提案や友垣祭の生徒会企画についての話がありました。私からは、本校の「誇れること」と「改善しなければならないこと」を明確にした上で、“With コロナ”のこれからの学校生活を、生徒会としてどうリードしていくかということについて、生徒会役員の役割を含め話をしました。私からの夏休みの宿題も出しました。生徒会活動の活発な学校には活気があります。役員の子供達は“志”をもって役員になったはずで、その“志”を思い出してほしい。そして、一人一人の知恵と工夫を結集させたこれからの具体的な取り組みを期待します。任期が少なくなってきた3年生は確実にバトンを渡し、下級生はそのバトンをしっかりと受け取り、次に繋いでほしいと思います。生徒会役員と校長による“小原田中を語る会”はこれからも続けていきたいと思っています。



『つなげ！ 1年生の絆』―盛り上がった1年体育祭

7月22日（水）の3・4校時には1年生の体育祭が体育館で行われました。

学年カラーの“緑”を使って、“グリーンウィンド・フェスティバル”（緑風祭～緑のさわやかな風を吹き込む大会に～）と命名され、『つなげ！



1学年の絆』という大会スローガンのもと実施されました。

前半は男女別のクラス対抗ドッチボール競技でした。ケガの防止に配慮し柔らかいボールを使用しました。好プレーが続出し白熱した戦いが繰り広げられました。後半は男女混合のバレーボール競技が行われました。小学校時代、バレーボールはほとんどやっていないため、ラリーを続けるのが難しかったようです。ドッチボールは4組、バレーボールは1組が第1位となり、本気になって応援等で頑張った4名の生徒に個人賞が授与されました。



1学期は様々な学校行事や生徒活動が延期・中止となりましたが、入学以来、初の本格的な学年行事でした。学年運営委員会の生徒達が準備や運営に責任をもって取り組んでくれました。掲げられたスローガン『つなげ！ 1学年の絆』のとおり、歓声や応援の声が止まない盛り上がりを見せました。生徒たちのいい笑顔が印象的だった体育祭でした。2名の生徒の感想です。



私が体育祭の中で感動したことが2つあります。

一つ目は、誰かが失敗しても、みんなでカバーし合ったり、励まし合ったりしていたことです。

二つ目は、1人だけで活躍するプレーよりもみんなで協力するチームプレーが多かったことです。



体育祭のスローガン『つなげ！ 1学年の絆』は達成できました。体育祭を開催して良かったと私は思っています。1学年のみんながより明るく、団結力のある学年に近づいたからです。これからも、みんなでつないだ絆を大切に、絆を深められるよう頑張ります。（1-4 吉田里桜さん）



今年はコロナウィルスの影響で、例年通りに体育祭ができず、少し残念な気持ちもありました。しかし、そんな気持ちは体育祭が始まったらすぐなくなりました。1年3組は、ドッチボールもバレーボールどちらも決勝に行けてうれしかったです。誰かが失敗しても、1人も責める人はいませんでした。競技だけでなく、応援やキャプテンコールでは一人一人が声を出していました。

このような機会があれば、1年3組のみんなでまた“Enjoy”（学級目標）したいです。

（1-3 佐藤善生君）



8月3日からトイレの洋式化工事始まります！



小原田中に来て驚いたことのひとつが生徒用トイレのモダンな造りでした。このトイレは平成15～17年度の大規模改修で造られ、外国製のタイル等が使用されるなど、他校ではあまり見られない造りになっています。これらのトイレの洋式化工事が8月3日（月）より始まります。北校舎の西側のトイレから工事はスタートし、各階廊下には仕切りの壁が設置されます。（廊下は通り抜けできます。）工期は12月上旬までですが、トイレの工事自体は11月までには完了する予定です。仮設トイレを設置するとともに、安全対策・感染症対策を万全にしながらの工事になります。2学期の授業中には音や振動が出るようになりますので、よろしく願います。なお、工事期間中の注意点については、その都度連絡しますので、その指示にしたがって行動できるようにしてください。